

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【公表番号】特表2009-511422(P2009-511422A)

【公表日】平成21年3月19日(2009.3.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-011

【出願番号】特願2008-514698(P2008-514698)

【国際特許分類】

C 07 C 311/08	(2006.01)
C 07 D 333/36	(2006.01)
A 61 K 31/381	(2006.01)
A 61 K 31/18	(2006.01)
C 07 D 213/76	(2006.01)
A 61 K 31/44	(2006.01)
C 07 D 409/10	(2006.01)
A 61 K 31/41	(2006.01)
A 61 K 31/4196	(2006.01)
A 61 K 31/192	(2006.01)
A 61 K 31/277	(2006.01)
C 07 D 257/04	(2006.01)
C 07 D 231/12	(2006.01)
A 61 K 31/415	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
A 61 P 25/18	(2006.01)
A 61 P 25/28	(2006.01)
A 61 P 25/16	(2006.01)
A 61 P 25/24	(2006.01)
A 61 P 25/00	(2006.01)
A 61 P 25/14	(2006.01)
A 61 P 25/08	(2006.01)
A 61 P 21/00	(2006.01)
A 61 P 21/02	(2006.01)
A 61 P 25/30	(2006.01)
A 61 P 25/32	(2006.01)
A 61 P 25/36	(2006.01)

【F I】

C 07 C 311/08	C S P
---------------	-------

C 07 D 333/36	
---------------	--

A 61 K 31/381	
---------------	--

A 61 K 31/18	
--------------	--

C 07 D 213/76	
---------------	--

A 61 K 31/44	
--------------	--

C 07 D 409/10	
---------------	--

A 61 K 31/41	
--------------	--

A 61 K 31/4196	
----------------	--

A 61 K 31/192	
---------------	--

A 61 K 31/277	
---------------	--

C 07 D 257/04	C
---------------	---

C 07 D 231/12	A
---------------	---

A 6 1 K 31/415
A 6 1 P 43/00 1 1 1
A 6 1 P 25/18
A 6 1 P 25/28
A 6 1 P 25/16
A 6 1 P 25/24
A 6 1 P 25/00
A 6 1 P 25/14
A 6 1 P 25/08
A 6 1 P 21/00
A 6 1 P 21/02
A 6 1 P 25/30
A 6 1 P 25/32
A 6 1 P 25/36

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月21日(2009.5.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

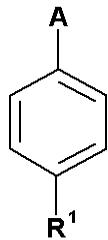
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式I:

【化1】

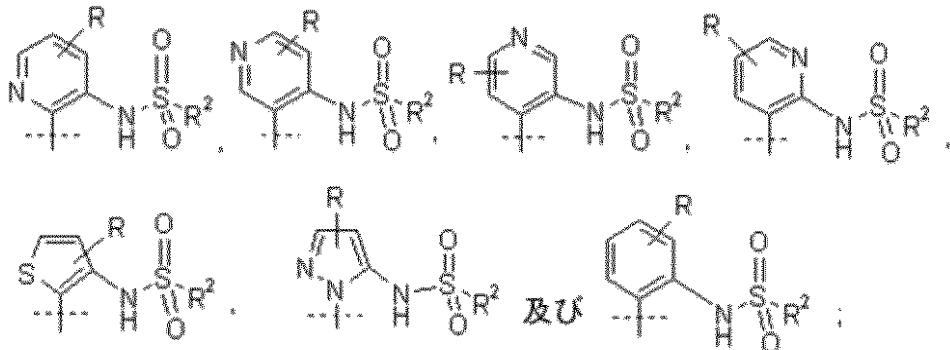


I

[式中、

Aは、式:

【化2】



で示される基からなる群より選ばれ;

Rは、H、ハロ、-COOH又は-CH2COOHであり;

R^1は、ハロ、シアノ、C1~C4アシル、-COOH、-NHR^3、C1~C2アルキル(

- NHCH₃、- N(SO₂(C₁ ~ C₃アルキル))₂、- COOH、- CONH₂、シアノ、ヒドロキシ又はテトラゾール-5-イルで置換されている)、- OCH₂COOH、- SCH₂COOH、- C(O)CH₂CH₂COOH、- SO₂NH₂、テトラゾール-5-イル、及び1,2,4-トリアゾール-1-イルからなる群より選択される第1の置換基で場合によっては置換されており；ハロ、トリフルオロメチル、シアノ、ニトロ、C₁ ~ C₄アルコキシ、ヒドロキシ、C₁ ~ C₄アルキル、C₁ ~ C₄アルキルチオ、- NHCH₂CN、- OCH₂CN、- NHSO₂CH(CH₃)₂、及び-C(O)NHR⁴からなる群より選択される第2の置換基で場合によってはさらに置換されており；ハロ及びシアノからなる群より選択される第3の置換基で場合によってはさらに置換されており；ハロからなる群より選択される第4の置換基で場合によってはさらに置換されている、フェニルであり；

R²は、C₁ ~ C₄アルキル又はジメチルアミノであり；

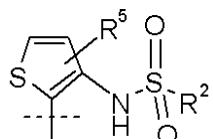
R³は、- SO₂(C₁ ~ C₃アルキル)、C₁ ~ C₄アシル、C₁ ~ C₄アルキル、又は水素であり；

R⁴は、水素、C₁ ~ C₄アルキル、又は-SO₂(C₁ ~ C₄アルキル)である]で表される化合物、又はその薬理学的に許容できる塩。

【請求項2】

Aが式：

【化3】



で示される基である、請求項1記載の化合物。

【請求項3】

R²がイソプロピルである、請求項2記載の化合物。

【請求項4】

2-シアノ-4'-(3-(プロパン-2-スルホニルアミノ)チオフェン-2-イル)ビフェニル-4-カルボン酸化合物又はその薬理学的に許容できる塩。

【請求項5】

2-エトキシ-4'-(3-(プロパン-2-スルホニルアミノ)チオフェン-2-イル)ビフェニル-4-カルボン酸化合物又はその薬理学的に許容できる塩。

【請求項6】

請求項1から5のいずれか記載の化合物を、薬理学的に許容できる担体、希釈剤または賦形剤とともに含有する、医薬製剤。

【請求項7】

請求項1から5のいずれか記載の化合物の、アルツハイマー病の治療用医薬品の製造のための使用。

【請求項8】

請求項1から5のいずれか記載の化合物の、パーキンソン病の治療用医薬品の製造のための使用。

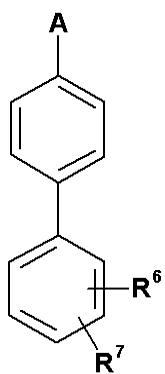
【請求項9】

医薬として用いられる、式Iの化合物。

【請求項10】

式II：

【化4】

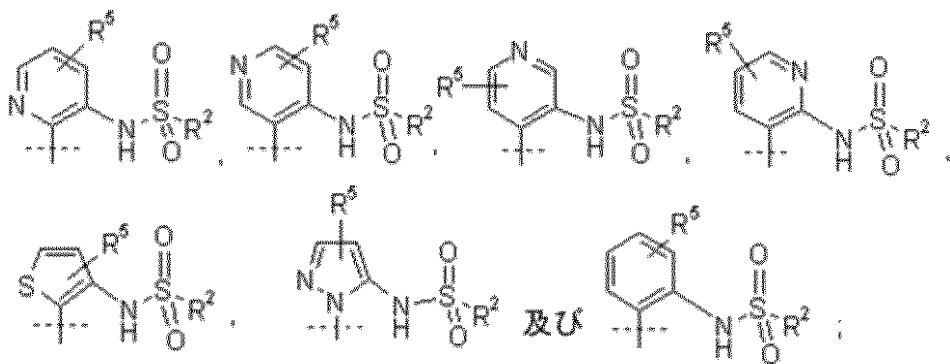


I I

[式中、

Aは、式：

【化5】



で示される基からなる群より選ばれ；

R²は、C₁～C₄アルキル又はジメチルアミノであり；R⁵は、H、ハロ、-COOR⁸、又は-CH₂COOR⁸であり；R⁶は、H、シアノ、C₁～C₄アルコキシ、ハロ、ヒドロキシ、トリフルオロメチル、又はメチルチオであり；R⁷は、-COOR⁹、-C(O)CH₂CH₂COOR⁹、-OCH₂COOR⁹、-SC_{H₂}COOR⁹、又は-COO_R⁹で置換されたC₁～C₂アルキルであり；R⁸及びR⁹は、R⁸及びR⁹の少なくとも一方が水素以外であるという条件で、それぞれ独立して、水素及びC₁～C₄アルキルからなる群より選択される] で示される化合物又はその塩基付加塩。